

「RPAを導入したが効果が出ていない」と感じている企業様へ

デジタルレイバーを成功に導くための スタートアップガイド

成功可否は導入前に決まる！成功するための3つのステップを解説

目次

業務改善・効率化や働き方改革の推進としてRPAといったテクノロジーによる業務の自動化・標準化が話題となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大による在宅業務整備の急務により、導入企業は横ばいとなっています。

また、それだけではなく、導入企業の中でも効果が出ている企業と出ない企業の二極化が起きています。

本書では、二極化するRPAの導入の原因を説明し、RPA運用の成功・デジタルレイバーを有効活用するための3ステップをご紹介します。

下記のようなニーズ・課題をお持ちのご担当者向けの資料です。

- ✓ PRAを導入したが効果が出ずに、活用が進んでいない
- ✓ RPAの導入を検討していたが、止めてしまった
- ✓ コロナ禍によるテレワークや在宅勤務の整備が終わったため、RPAによる業務の自動化を検討したい

1章

p4~p6

導入したが効果が出ない？！ 二極化するRPAの実態

- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大によりRPAの導入が停滞している
- ◆ 有効活用できている企業とできていない企業の二極化
- ◆ 効果を出せない企業の傾向

2章

p8~p11

デジタルレイバーを成功に導くための 「導入前3ステップ」

- ◆ 成功可否は導入前に決まる！
成功するための3つのステップ
- ◆ ステップ①業務全体を可視化・分解する
- ◆ ステップ②置き換える業務・プロセスを選定する
- ◆ ステップ③置き換えることによる改善効果を確認する

3章

p13~p18

デジタルレイバーを成功に導く NEC業務プロセス革新支援ソリューション

- ◆ NEC業務プロセス革新支援ソリューションとは
- ◆ デジタルレイバーに置き換える業務を見つけ出す5つのソリューション
- ◆ NEC業務プロセス革新支援ソリューションの強み
- ◆ 導入事例
- ◆ 会社概要・お問合せ

1章

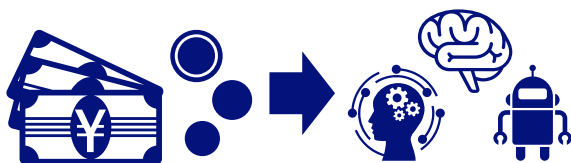
導入したが効果が出ない？！ 二極化するRPAの実態

新型コロナウイルス感染拡大によりRPAの導入が停滞している

RPAとは事務作業などをロボットで自動化を行い、業務改善や働き方改革に繋がる画期的なテクノロジーです。RPAはテクノロジーによる労働力である「デジタルレイバー」の一環として導入が進むと考えられていましたが、コロナ禍では導入が進んでいない状況になっています。原因としては、導入費用が高い、が分かりにくいなどがありますが、コロナ禍による**在宅勤務環境構築の必要性が高まったことが大きい**と考えられます。

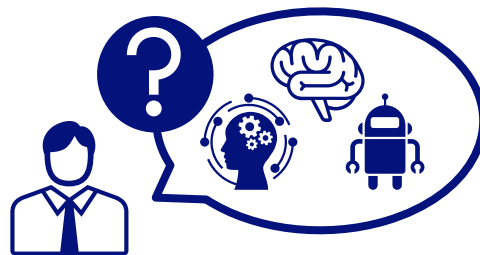
コロナ禍におけるRPA導入が進まない3つの原因

導入費用が高い



RPAの導入には年間数千万の費用がかかるものもあり、大きな資金力がなければ導入が難しい。
費用対効果が分かりにくいいため、
RPA導入への大規模なIT投資がしにくい。

RPAへのリテラシーが低い



現場のRPA導入に対するリテラシーが低いため、
RPAによる自動化のメリットが享受されにくい。
RPA導入が自分ごと化されないため、
導入に障壁が生じている。

大きな原因

在宅勤務環境構築へのIT投資

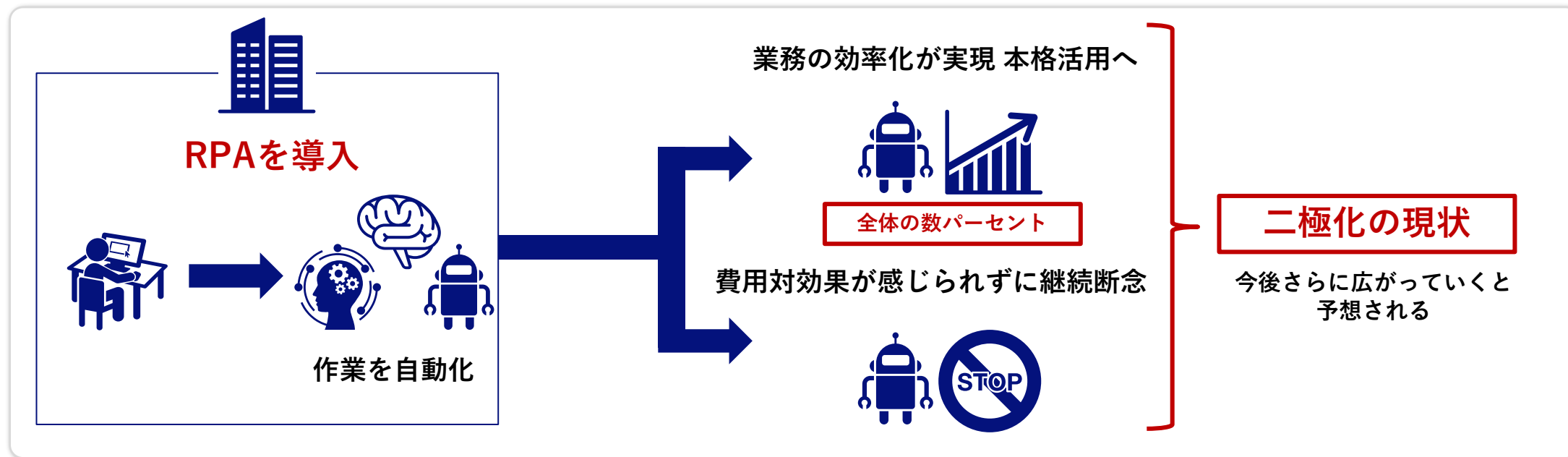


新型コロナウイルス感染拡大により
IT投資をRPAといった自動化ではなく、
Web会議、グループウェア、ネットワーク再構築、
セキュリティなど在宅勤務の環境構築に振り
向けたことが考えられる。

有効活用できている企業とできていない企業の二極化

導入が停滞している原因として考えられるのは、在宅勤務の環境構築を優先したIT投資だけではありません。多くの企業がRPAを有効活用出来ていないことも原因の一つです。RPAによる自動化に興味を持ってテスト導入しても、費用対効果を感じられずに辞めてしまったり、メンテナンスに時間がかかり逆効果をもたらしたりと、失敗に終わっている企業が多いのが実情です。実際に業務改善を成功している企業もありますが**全体の数パーセント**しかおらず、RPAの活用は二極化しています。

広がるRPA活用の二極化



効果を出せない企業の傾向

RPAの導入に失敗している企業が多いことにはある原因があります。RPAの導入により費用対効果が上がらない企業には**目先の単純作業をロボットに置き換えようとするだけで、現状把握およびRPA運用後の理想像が不明確である**という傾向があります。結果、業務負担が少ない作業のみが自動化になり、逆に運用負担が増加してしまうこともあります。

費用対効果を出せない企業の傾向



RPAの効果が出ない企業が知るべき「デジタルレイバー」成功のステップを次章にて紹介します。

2章

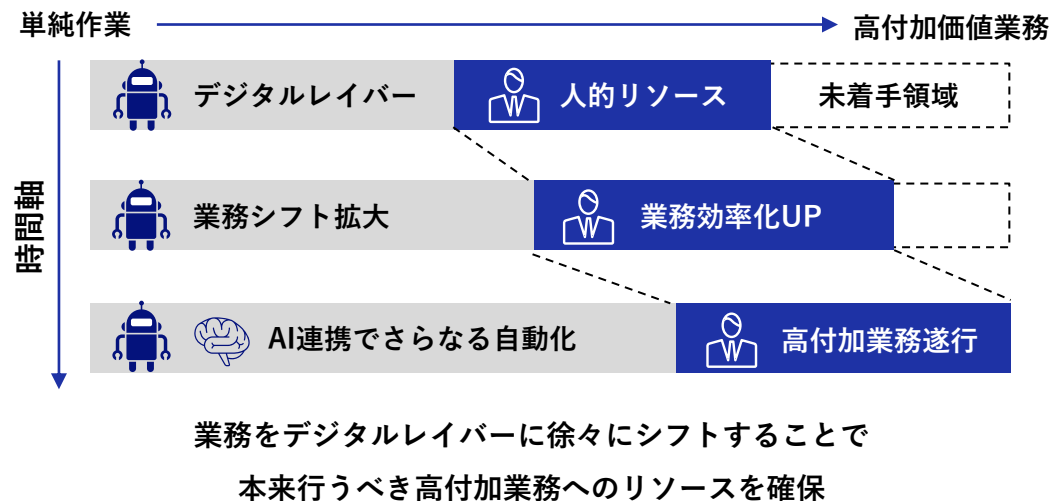
デジタルレイバーを成功に導くための 「導入前3ステップ」

成功可否は導入前に決まる！成功するための3つのステップ

RPAといったテクノロジーによる労働力「デジタルレイバー」を成功させるためには、導入前の準備がとても重要です。まず、RPA導入後デジタルレイバーへ単純業務を引き継ぐ「リソースシフト」の考え方を持つことが必要です。「リソースシフト」の考え方を持ったうえで、3つのステップを行いRPAの導入を検討していきます。まずは現在の業務全体を可視化し、RPAに置き換える業務を選定します。そして、RPAに置き換えた場合の改善効果をしっかり推測して見極めることが成功への近道です。

デジタルレイバー成功に導く「リソースシフト」と「3つのステップ」

デジタルレイバーによるリソースシフト



デジタルレイバー成功への3つのステップ

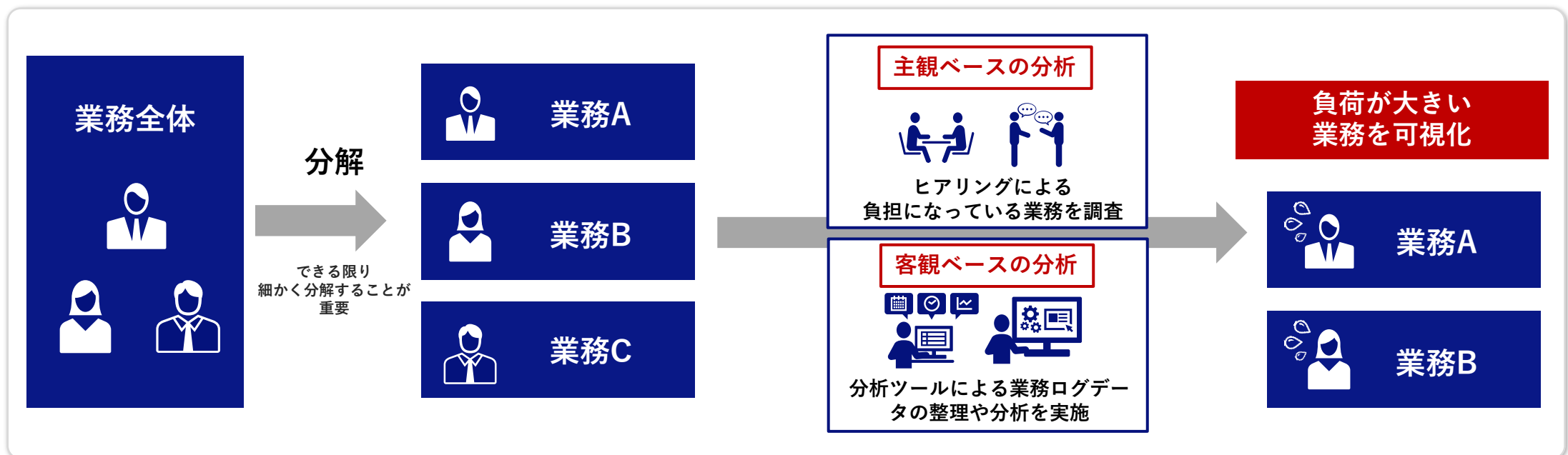
- ステップ1**
業務全体を可視化・分解
- ステップ2**
置き換える業務・プロセスを選定
- ステップ3**
改善効果を推測・確認

ステップ① 業務全体を可視化・分解する

まずは現状の業務全体を見つめなおし、現状分析を行う必要があります。誰と誰がどのような情報を用いてどのようなやりとりが発生しているか、各担当者の現在の業務内容とその負担度合いなど業務全体を可視化および分解することが重要です。

また分析を行う際は、主観ベースだけではなく、分析ツールによる業務ログデータの整理といった客観的業務の可視化・分解も重要となります。

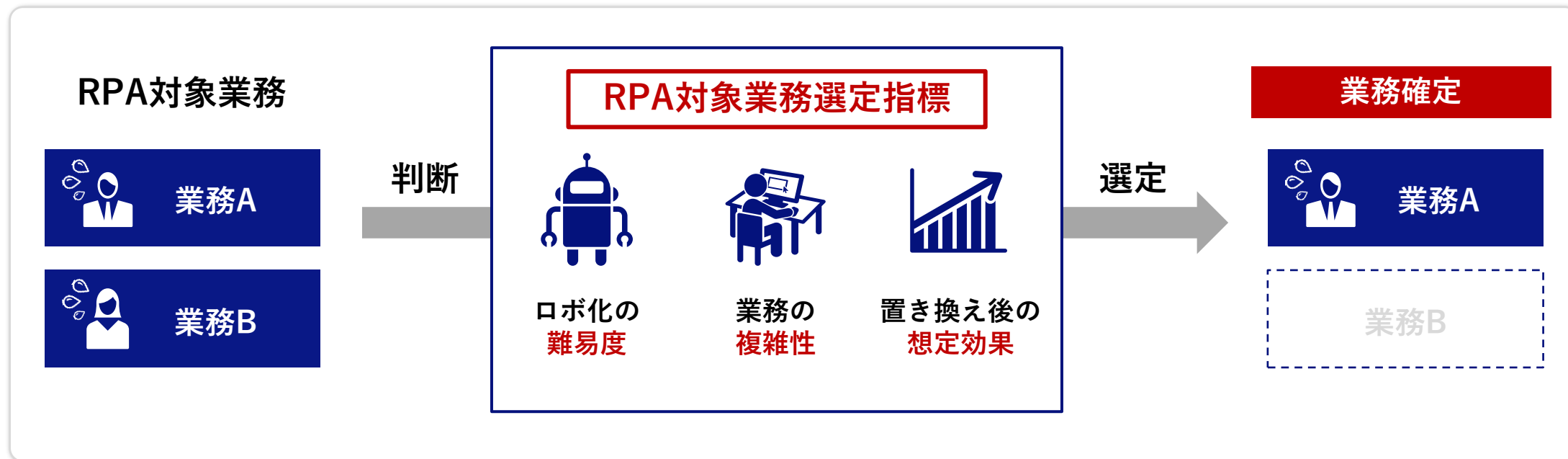
現状の業務全体を可視化および分解



ステップ② 置き換える業務・プロセスを選定する

次に業務の現状分析を行った後、実際にデジタルレイバーへ置き換えるべき業務およびプロセスを選定する必要があります。数多くの業務から置き換える業務を選定するには、RPAへの置き換え難易度や業務の複雑性、相対効果などの判断指標を決め適切な選定を行う必要があります。業務効率化を図るうえで非常に重要なステップです。

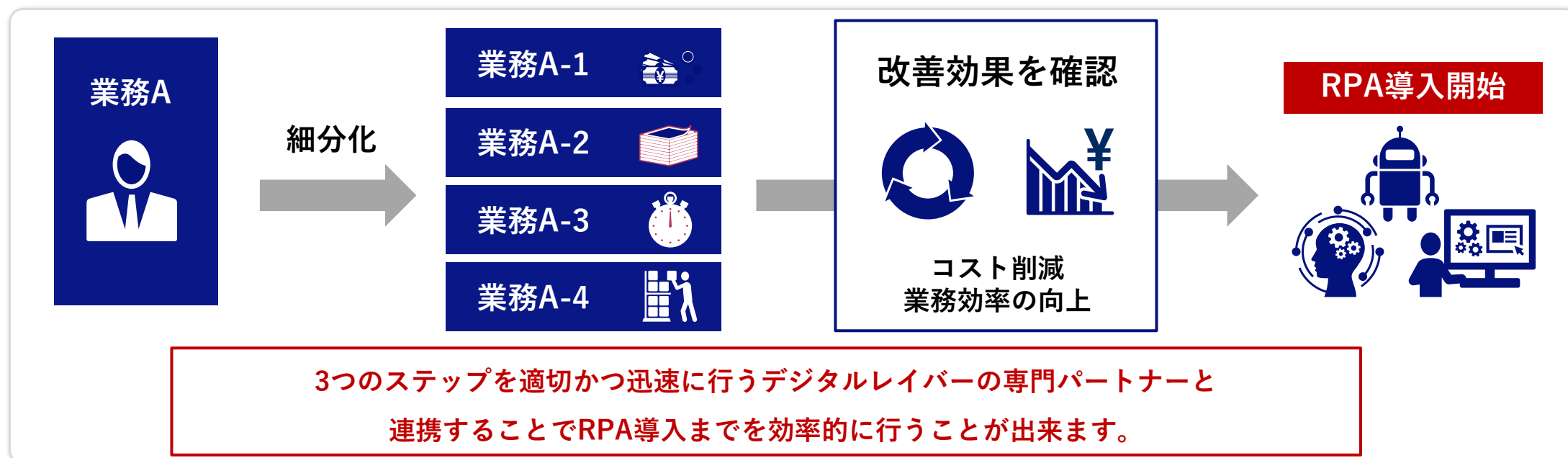
対象業務を適切な指標のもと判断を行い選定



ステップ③ 置き換えることによる改善効果を確認する

選定した業務・プロセスからさらに細分化を行い、実際にかかる工数とコストを可視化した後、デジタルレイバーに置き換えることによる**費用対効果**を想定します。導入費および運営費に対して、業務のコスト削減および効率化がしっかり見えることを確認したうえで、導入を検討することが必須です。また、以上のようなデジタルレイバー成功の3ステップを自社で行うことが難しい場合は**デジタルレイバーの専門パートナーと連携して進めることが効率的**です。

業務の細分化をさらにを行い、費用対効果を確認する



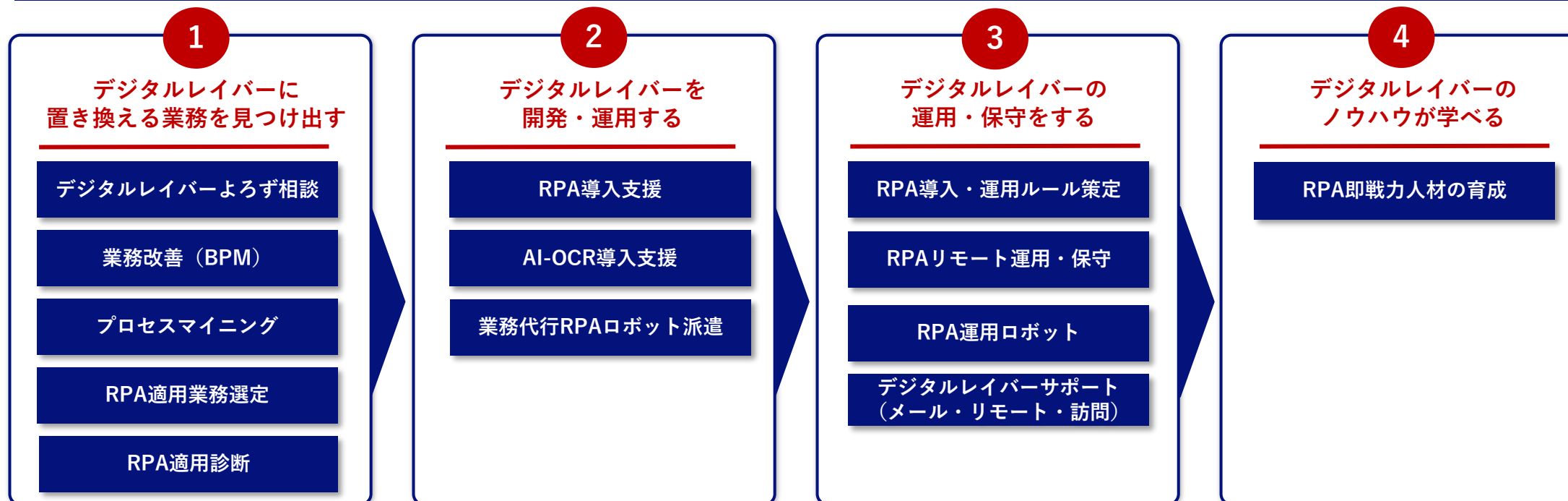
3章

デジタルレイバーを成功に導く 「NEC業務プロセス革新支援ソリューション」

「NEC業務プロセス革新支援ソリューション」とは

NECソリューションイノベータが提供する「NEC業務プロセス革新支援ソリューション」はデジタルレイバーといったRPA導入のために置き換える業務を見つけ出すフェーズから、開発・導入、運用・保守、人材の育成までを徹底的に支援しています。またデジタルレイバーによるリソースシフトの実現によってお客様の**企業価値や競争力、そして社会的価値の向上、DX推進に貢献**します。

デジタルレイバーの活用を成功に導く4つのソリューション



デジタルレイバーに置き換える業務を見つけ出す 5つのソリューション

NECソリューションイノベータでは、デジタルレイバー成功の3ステップを行い、かつデジタルレイバーに置き換える業務を見つけ出せるソリューションを提供しています。

STEP1 業務全体を可視化・分解する

デジタルレイバー よろず相談



NECの経験豊富なデジタルレイバープランナーが不安や悩みをお伺いし、親切・丁寧にお答えします。

業務改善 ソリューション



ヒアリングによって課題業務の今を可視化、あるべき姿から現実的な改善案を提示。改善プロセス・RPAによる自動化要件を取りまとめます。

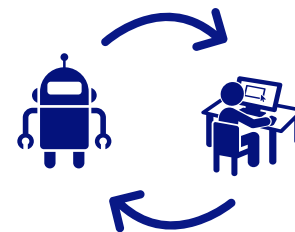
プロセスマイニング サービス



プロセスマイニングツールを用いてイベントログを解析、現状業務の実行状況を様々な観点で可視化し、客観的に分析を実施します。

STEP2 置き換える業務 ・プロセスを選定

RPA適用業務選定 サービス



分析した業務にて適合するRPAの報告書や簡易As-Is業務フローを作成します。

STEP3 改善効果を推測・確認

RPA適用診断 サービス



ツール等を利用し現状業務プロセスの可視化およびTo-Beモデルの構築を行い、費用対効果を計測します。

NEC業務プロセス革新支援ソリューションの強み

NEC業務プロセス革新支援ソリューションの強みは2つあります。1つ目は、相談から導入・運用までの**ワンストップ伴走**です。デジタルレイバーの専門家である私たちが伴走することでデジタルレイバーの活用を実現します。2つ目は**約1600体のロボットの開発・運用・保守の実績**です。NECソリューションイノベータではRPAのロボットの開発のみならず、運用・保守も行っています。

そのため導入後の変更修正・改善もサポートすることができます。

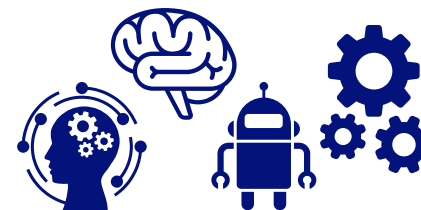
NEC業務プロセス支援ソリューション 2つの強み

相談から導入、運用まで ワンストップで伴走



NECソリューションイノベータはお客様のDX推進、RPAによる自動化といった悩みを相談から導入、運用までワンストップで伴走いたします。リソースシフトを回していくことで最終的にはデジタルレイバー運用の自走が可能となります。

約1,200体のロボットの 開発・運用・保守の実績・ノウハウ



NECソリューションイノベータは約1600体のロボットの開発・運用・保守の実績・ノウハウがあるため、お客様のニーズに合ったご提案が可能です。開発だけではなく、運用・保守の経験も豊富なため、導入後の変更修正・改善にもお役に立てます。

導入事例

お客様の業務背景

AIやデータの活用を強みとし、現場のニーズに応えた業務改革を推進している。同社は技術の進化により誕生したRPAやICTを業務に取り組み高度化する活動を行っていた。

導入前の課題

経理業務における繰り返し業務を自動化できないかという課題があった。また、調達や人事の領域などにもRPAを導入していきたいというお声があった。

「NEC 業務プロセス革新支援ソリューション」

導入による効果

1



開発から運用まで併走してくれ、安心してRPAを導入できた。

2



OCRとの連携や統合管理ツールなど技術の高さを活かし、年間で15万時間の削減に成功した。

3



ミスが許されない業務における担当者の心理的負担が大幅に軽減された。

本資料・ソリューションに関するお問合せ

NECソリューションイノベータ株式会社

デジタルレイバーの導入・運用に関するご相談はお気軽にご連絡下さい。

お問合せ先

お問い合わせフォーム：

<https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/sl/digitallabor/form/inquiry.html>

メールアドレス：rpa-sales@nes.jp.nec.com

会社概要

会社名	NECソリューションイノベータ株式会社（NEC Solution Innovators, Ltd.）
設立年月日	1975年9月9日 ※2014年4月1日 NECソリューションイノベータ発足
資本金	8,668百万円
代表者	代表取締役 執行役員社長 石井 力
従業員数	12,589名（2024年3月31日 現在）
本社所在地	東京都江東区新木場一丁目18番7号
電話番号	(03)5534-2222(代)
事業内容	システムインテグレーション事業 サービス事業 基盤ソフトウェア開発事業 機器販売

いつかを、 いまに、 変えていく。

すべては、いつか実現したい未来を描くことから始まる。

NECソリューションイノベータは、
お客様価値を最大化するシステムインテグレータとして、
まだ見ぬサービスを生み出すバリュー・プロバイダとして、
めざす未来をともに描き、創っていきたい。

いつかを、いまに、変えていく。

私たちは常に挑戦していきます。



Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

\Orchestrating a brighter world

NEC